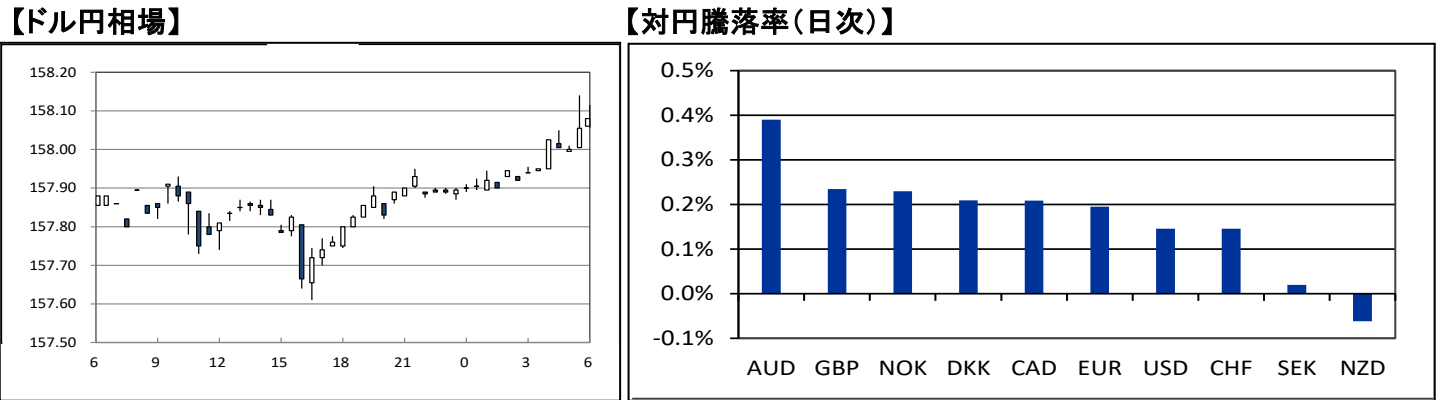


【昨日の市況概要】				公示仲値	157.98
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	157.91	1.0739	169.53	1.2707	0.6661
SYD-NY High	158.14	1.0753	169.83	1.2738	0.6677
SYD-NY Low	157.61	1.0725	169.17	1.2701	0.6656
NY 5:00 PM	158.08	1.0744	169.83	1.2719	0.6673
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	-	-	日本2年債	0.2800%	0.0000%
NASDAQ	-	-	日本10年債	0.9300%	▲0.0100%
S&P	-	-	米国2年債	-	-
日経平均	38,570.76	88.65	米国5年債	-	-
TOPIX	2,728.64	12.88	米国10年債	-	-
シカゴ日経先物	-	-	独10年債	2.4010%	0.0095%
ロンドンFT	8,205.11	13.82	英10年債	4.0665%	0.0185%
DAX	18,067.91	▲ 64.06	豪10年債	4.1810%	0.0450%
ハンセン指数	18,430.39	514.84	USDJPY 1M Vol	7.58%	▲0.30%
上海総合	3,018.05	▲ 12.20	USDJPY 3M Vol	8.46%	▲0.11%
NY金	-	-	USDJPY 6M Vol	9.19%	▲0.04%
WTI	-	-	USDJPY 1M 25RR	▲1.11%	Yen Call Over
CRB指数	-	-	EURJPY 3M Vol	8.96%	▲0.12%
ドルインデックス	105.25	▲ 0.00	EURJPY 6M Vol	9.43%	▲0.06%

東京	東京時間のドル円は157.91レベルでオープン。財務省の国債発行の年限短期化が報じられ、円債市場では超長期を中心に買いが見られたが、為替市場への影響は限定的であった。本日はNY休日ということもあり、ドル円は終始小幅な値動きとなり、結局157.83レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、157.83でオープン。特段の材料がない中、方向感なく推移し、結局157.91レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2715レベルでオープン。英5月CPIが発表され、前年比の数値が前回2.3%から英中銀の目標水準である2.0%に予想通り下落した。一方でサービスインフレが予想を上回るなど引き続き根強く、ポンドは1.2738まで買われる。結局、そのまま大きく崩れることなく1.2734レベルで欧州時間を終えた。
ニューヨーク	休場

【昨日の指標等】						
Date	Time	Event		結果	予想	
6月19日	08:50	日	貿易収支	5月	-¥1221.3b	-¥1280.5b
	15:00	英	CPI(前月比/前年比)/CPIコア(前年比)	5月	0.3%/2.0%/3.5%	0.4%/2.0%/3.5%
【本日の予定】						
Date	Time	Event		予想	前回	
6月20日	15:00	独	PPI(前月比/前年比)	5月	0.1%/-2.0%	0.2%/-3.3%
	20:00	英	イングランド銀行政策金利	20-Jun	5.25%	5.25%
	21:30	米	新規失業保険申請件数	15-Jun	235k	242k
	21:30	米	住宅着工件数/同前月比	5月	1370k/0.7%	1360k/5.7%
	21:30	米	建設許可件数/同前月比	5月	1450k/0.7%	1440k/-3.0%
	21:30	米	フィラデルフィア連銀景況	6月	5.0	4.5
	21:45	米	カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-	-	-



【予想レンジ】			
通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	157.50-158.70	1.0700-1.0780	169.00-170.50

【マーケット・インプレッション】	
昨日のドル円は157台後半で取引を開始。財務省が国債発行年限の短期を検討との報道が伝わると円債市場は反応するも、為替市場への影響は限られた。その後は、英5月CPI公表後にポンドが対ドルで上昇する動きがみられたが、NY休日ということもあり、ドル円は一日を通して小動きにとどまった。 本日のドル円は引き続き底堅い展開を予想。財務省の国債発行年限の短期化については、明日21日に財務省が「国の債務管理に関する研究会」が開催される予定。具体的な議論が深まるようであれば長期・超長期ゾーンには金利低下圧力がかかりやすくなり、日銀が金融緩和縮小に動きやすくなると思惑も強まる可能性がある。為替市場への短期的な影響は大きくないとみるが、引き続き注目したいところ。本日は、スイス、英国で金融政策決定会合が予定される。ともに据え置きが予想されるが、タカ派な内容が見られれば欧米中銀の利下げ時期の後ずれへの警戒から、クロス円中心に円安圧力が強まる可能性もあり、警戒したい。	

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。